



平成22年 5月28日

各 位

会 社 名 株式会社テーオー小笠原
代表者名 代表取締役社長 小笠原 康正
(J A S D A Q コード ・ 9 8 1 2)
問合せ先
役職・氏名 専務取締役 今 野 宮 夫
電話 0138-45-3911

特別損失及びたな卸資産評価損並びに平成22年5月期（連結・個別）業績予想、
期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、一部事業、拠点の廃止等を決定した結果、平成22年5月期において特別損失及びたな卸資産評価損を計上する見込みとなりました。また、特別損失及びたな卸資産評価損の計上と直近の業績動向を踏まえ、平成22年1月6日に公表しました平成22年5月期（連結・個別）業績予想及び平成22年4月9日に公表しました配当予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失

(1) 固定資産の減損損失

当社及び子会社の固定資産（土地、建物、構築物、機械装置等）について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、連結で1,200百万円（うち個別は397百万円）を特別損失として計上する見込みであります。

(2) たな卸資産の簿価切り下げ

木材事業製造部門の一部閉鎖・移転及び住宅事業の抜本的な事業の見直しに伴い、当社及び子会社のたな卸資産及び販売用不動産について簿価切り下げを行い、連結で1,758百万円（うち個別は965百万円）を特別損失として計上する見込みであります。

2. たな卸資産評価損

「棚卸資産の評価に関する会計基準」に基づきたな卸資産評価を行い、連結及び個別で120百万円を売上原価として計上する見込みであります。

3. 業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正（平成21年6月1日～平成22年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（A）	35,000	550	400	230	26.46
今回修正（B）	33,184	106	25	△2,116	△243.43
増減額（B－A）	△1,816	△444	△375	△2,346	－
増減率（％）	△5.2	△80.7	△93.8	－	－
（参考）前期実績 （平成21年5月期）	37,304	560	413	189	21.82

(2) 個別業績予想の修正（平成21年6月1日～平成22年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（A）	33,000	500	350	200	22.98
今回修正（B）	31,852	253	256	△673	△77.33
増減額（B－A）	△1,148	△247	△94	△873	－
増減率（％）	△3.5	△49.2	△26.7	－	－
（参考）前期実績 （平成21年5月期）	34,051	342	280	188	21.64

(3) 修正理由

売上高につきましては、新設戸建住宅着工及び公共工事の減少、設備投資抑制等の影響により、主力であるフローリングの施工受注をはじめ製材及び建築資材の売上高、建設工事の受注が減少したことにより、計画を下回る見込みです。

収益面につきましても、売上高の減少に加え、木材事業製造部門における原材料及び燃料の価格高騰による製造コストの上昇、たな卸資産評価損の計上の影響により、営業利益は計画を下回る見込みです。経常利益につきましては個別において災害に対する保険金の受け取り等があったものの前述の営業利益に対する同様の影響により連結、個別ともに計画を下回る見込みです。また、前述の特別損失の計上に伴い、当期純利益においても連結、個別ともに計画を下回る見込みです。

4. 配当予想の修正

(1) 平成22年5月期の配当

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成22年4月9日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成21年5月期)実績	—	0.00	—	10.00	10.00

(2) 修正理由

当社の利益配分につきましては、着実な業績の向上を図りながらそれに応じた適正な配当を行うことを基本方針としておりましたが、当期につきましては、特別損失及びたな卸資産評価損の計上の発生に伴い、当期純損失を計上することとなりました。このため、誠に遺憾ではございますが、平成22年5月期の配当につきましては、無配とさせていただきます。

なお、本件は、平成22年8月26日開催予定の第56回定時株主総会に付議する予定であります。

以上

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。